

# 予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：児童福祉費 目：家庭児童福祉費

## 事業名 結婚促進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 子ども・女性局 子育て支援課 少子化対策係 電話番号：058-272-1111(内3534)

E-mail：c11236@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 9,949 千円 (前年度予算額： 15,889 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	15,889	0	0	0	0	0	0	0	15,889
要求額	9,949	0	0	0	0	0	0	0	9,949
決定額									

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨（現状と課題）

一年間に国内で生まれる子どもの数が令和4年で80万人を下回るなど、国全体で少子化が進んでおり、岐阜県も同様の状況にある。我が国では、出生する子どもの9割以上が婚姻関係にある男女から生まれることから、結婚に繋がる出会いの機会の提供、結婚を応援する機運の醸成等が少子化対策として重要である。

### (2) 事業内容

結婚を望む人に対して出会いの機会を提供する。

(ア) 結婚を希望する県民を対象としたお見合いイベントの開催

- ・男女各10人程度
- ・1対1でのプロフィール交換及びマッチングを行う。

(イ) 結婚を希望する県民を対象とした交流会の開催

- ・男女各50人程度
- ・集客が期待できるセミナー等を同時開催する。

### (3) 県負担・補助率の考え方

財源：一般財源

### (4) 類似事業の有無

無

### 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	32	プロポーザル審査委員謝金
旅費	11	費用弁償
委託料	9,906	イベント運営業務、プロモーション業務等委託
合計	9,949	

#### 決定額の考え方

### 4 参考事項

#### (1) 各種計画での位置づけ

第4次岐阜県少子化対策基本計画

第4章

Ⅱ 若者の結婚の希望がかなえられる環境づくり

#### (2) 事業主体及びその妥当性

県下全域を対象に実施する事業であり、県が事業主体となることは妥当。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

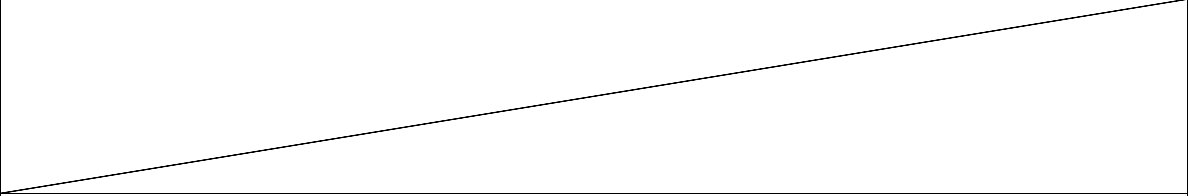
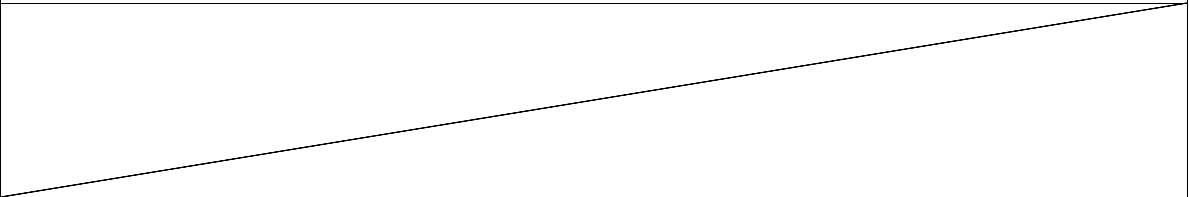
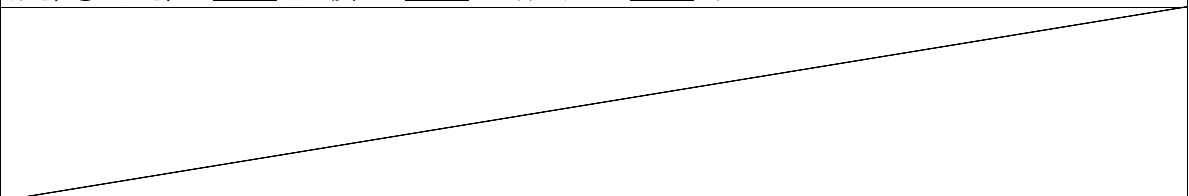
結婚を希望する県民を対象としたお見合いイベント、交流会等を開催し、結婚を希望する人に出会いの機会を提供する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R3)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
成婚報告数 (単年度)	35	27	36	36	36	

○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 3 年度	 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・ <b>事業の必要性</b> (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)  <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	我が国では、出生する子どもの9割以上が婚姻関係にある男女から生まれることから、結婚に繋がる出会いの機会の提供、結婚を応援する機運の醸成等が少子化対策として重要である。
<p>・ <b>事業の有効性</b> (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)  <small>3：期待以上の成果あり                  2：期待どおりの成果あり                  1：期待どおりの成果が得られていない                  0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価)	
<p>・ <b>事業の効率性</b> (事業の実施方法の効率化は図られているか)  <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価)	

### (今後の課題)

<p>・ <b>事業が直面する課題や改善が必要な事項</b>                  アンケート調査によりイベント満足度が高いことが明らかとなったため、多くの参加者を獲得できるよう、より積極的に広報活動を行う必要がある。</p>
---

### (次年度の方向性)

<p>・ <b>継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</b>                  令和5年8月・9月に実施したお見合いイベントについては参加者の82%が、交流会については参加者の95%が本事業を評価しており、回数増を希望する声も多数聞かれることから、次年度においても継続して本事業に取り組んでいく。</p>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	